（先端技術科学教育部：システム創生工学専攻　電気電子創生工学コース）　【博士（工学）】

カリキュラム・ポリシー
電気電子創生工学コースでは，デバイス、エネルギー、電子回路、システム等の技術を統合した電気電子システムを創生することのできる総合的な人材を養成することをめざし，以下のようなカリキュラムを編成している。 １．多様な分野の科目を履修させることで，学問の高度化と総合化をはかる。地域企業の活性化，ベンチャー企業の立ち上げができる能力，実践的な英語力やプレゼンテーション能力を高めさせて，国際や実社会で活躍できる能力を身につけさせる。 ２．持続可能な社会システムの構築に向けての環境保全の分野と省エネ，再生可能エネルギー，ＣＯ２削減等の環境エネルギーの分野の知識を身につけさせる。 ３．自身の専門領域以外に関する演習を行うことで，他の領域からの視点や方法論などを学ばせ，幅広い知識を身につけさせる。 ４．博士論文に関連の深い分野の演習を行うことで，専門性を深めさせる。 ５．電気電子工学に関する高度な専門知識を教授する専門科目を設置し、専攻分野において国際水準の研究を実施できる技術者を養成する。 ６．これまでに学んだ２ つ以上の専門性と幅広い分野にわたる知識を生かし，国内外で認められる質の高い研究論文を作成させる。

【学修成果の到達目標】	【学修内容・学修方法及び学修成果の評価方法】
１．専門知識と深い理解力 工学・電気電子工学の幅広い先端知識をベースに専門分野に関する深い理解と応用力を有する。	【学修内容】 専門科目群を通して，基礎的な専門分野を発展させた特定専門分野あるいはそれらを融合発展させた新しい専門分野に関する高度な専門知識・技術・応用力を有する専門技術者を育成する学修を実施する。 【学修方法】 講義及び演習・実習・実験等の専門科目における少人数指導 【学修成果の評価方法】 試験，口頭試問，レポート等によって到達度を客観的に評価する。
２．コミュニケーション能力・情報収集・発信能力 コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力，情報収集・処理・発信能力を有する。	【学修内容】 総合科目群及び電気電子創生工学特別研究を通して，専門技術分野に関する情報収集，解析能力を有し問題点を探求し論理的な思考をもとに解決し，情報発信できる能力を養う学修を実施する。 【学修方法】 講義及び演習・実習・実験等の専門科目における少人数指導。個別指導による研究内容の対外発表指導及び博士論文作成の指導。 【学修成果の評価方法】 試験，口頭試問，レポート，博士論文の発表等によって到達度を客観的に評価する。博士論文は審査によって評価する。
３．国際的視野と高い倫理観 電気電子工学に関する諸現象を様々な視点から考察でき，国際社会に通用する高い見識と倫理観をもって情報発信できる能力を有する。	【学修内容】 総合科目群及びコース専門科目群などを通して，地域社会・国際社会における豊かで健全な社会発展を，安全性と信頼性をベースとした高い視野から物事を捉え判断する能力を養う学習を実施する。 【学修方法】 講義及び演習・実習・実験等の専門科目における少人数指導。個別指導による研究内容の対外発表指導及び博士論文作成の指導。 【学修成果の評価方法】 試験，口頭試問，レポート等によって到達度を客観的に評価する。博士論文は審査によって評価する。
４．問題解決能力 電気電子工学に関する諸問題について分析する能力を有し，自ら，その解決のための課題設定能力及び解決能力を有する。	【学修内容】 コース専門科目群及び電気電子創生工学特別研究を通して，電気電子工学内の専門分野の問題点や研究課題を明確に認識理解し，創造性・独創性豊かな研究開発を，自律的・計画的に行う問題解決能力を養う学修を実施する。 【学修方法】 講義及び演習・実習・実験等の専門科目における少人数指導。個別指導による研究内容の対外発表指導及び博士論文作成の指導。 【学修成果の評価方法】 試験，口頭試問，レポート等によって到達度を客観的に評価する。博士論文は審査によって評価する。